

生化学・免疫血清部門



臨床化学・免疫自動分析器

血液・尿などを用いて様々な成分を分析し、体に異常がないか、どの部分の疾患なのか、炎症があるのか、栄養状態はどうかなどを調べたり、免疫学的方法でウイルスや細菌に感染した後に作られる抗体や、腫瘍のスクリーニング、ホルモン検査の治療効果の判定、経過観察のための検査を行っています。また、喘息治療薬、抗てんかん薬など患者さまが服用されている薬の血中濃度の測定や、迅速診断キットを使用して、インフルエンザ、RSウイルス、マイコプラズマ抗体、プロカルシトニン、トロップTなど多項目に渡る検査も行っています。



臨床化学自動分析装置



血液ガス測定装置



糖尿病関連測定装置

< 主な検査項目 >

| | |
|---------|---|
| 肝機能検査 | AST、ALT、 γ -GTP、LDH、ビリルビン、TP、アルブミン |
| 腎機能検査 | クレアチニン、尿素窒素、尿酸、電解質 |
| 脂質検査 | 総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、中性脂肪 |
| 心臓の検査 | CPK、CK-MB、BNP、LDH |
| 糖尿病関連 | 血糖、HbA1c、グリコアルブミン |
| 炎症反応検査 | CRP |
| 感染症検査 | Hbs 抗原、HCV 抗体、梅毒検査 |
| 甲状腺機能検査 | TSH、FT3、FT4 |
| 腫瘍マーカー | CEA、AFP、CA19-9、PSA |

< 精度管理 >

信頼のある質の高い検査をめざし、日本医師会・日本臨床衛生検査学会・兵庫臨床検査技師会・その他の外部精度管理調査に参加し検査結果の精度・基準を維持するとともに、他施設との互換性を保っています。

自動分析装置は 24 時間稼働体制で緊急検査に対応しています。病棟から朝提出された検体は9 時頃までには結果が参照できるようにし、外来の至急検査(診察前・化学療法前など)にも力を入れています。

検査結果は分析装置とコンピュータシステムにより結果が出たら直ちに院内各部署のコンピュータ端末の画面で医師が参照できるようになっています。